



准教授

田中 稲子

タナカ イネコ



大学院都市イノベーション研究院 都市イノベーション部門  
理工学部 建築都市・環境系学科 建築教育プログラム  
大学院都市イノベーション学府 建築都市文化専攻 建築都市文化コース  
工学部 建設学科 建築学コース  
itanaka@ynu.ac.jp  
<http://ynuarc5.jimdo.com/>

工学  
建築学

建築環境・設備

環境共生建築  
省エネ建築  
温熱環境  
住環境教育

## 【研究概要】

自然エネルギー利用を中心とする環境共生型の建築や都市デザインに関わる研究を行っています。建築レベルではパッシブ換気システムの開発や自然エネルギー利用を前提とした建物の室内環境(温熱・光)評価を、都市レベルではヒートアイランド対策としての風の道や小規模緑地/水路の冷却効果等を気候および生理・心理反応の両面から評価を行ってきました。また、当該建築・都市環境のあり方について社会科学的な調査分析を行っています。さらに、これらの成果を環境行動へ繋げるための住環境教育のプログラム開発を一般建築/エコスクールを対象として行っています。

## 【アドバンテージ】

自然エネルギーを活用するような建築は、利用者の環境調節行動を前提としたつくりが基本となるため、室内環境評価だけでは本来の性能を保証したことにはなりません。このため、利用者の環境行動も含めた評価や環境行動を誘発するような住環境教育プログラムの提示も重要となります。当該研究では建物と人間の両視点から建築環境をデザインするための手法を構築しようとする点に特徴があります。

## 【事例紹介】

- ・宮田村こうめ保育園+東保育園改修環境設計監修(2012)
- ・杉並区エコスクールにおける住環境教育プログラムの構築(2008-2009)
- ・パッシブ換気システム部材「息をする壁体」の開発(1995-2001)

## ■ 相談に応じられるテーマ

室内・屋外温熱環境の評価  
パッシブシステムの開発・評価  
環境共生型の建築・都市環境デザイン  
エネルギー・環境教育プログラムの開発

## ■ 主な所属学会

日本建築学会  
日本エネルギー環境教育学会  
人間・生活環境系学会

## ■ 主な論文

『小学校児童を媒介とした住環境行動の家庭への波及効果に関する研究』  
『日本建築学会大会学術講演梗概集』2009/8  
『保育施設の「屋外遊戯場」としての公園の代替利用に関する研究 - 横浜市内における保育施設を対象としたアンケート調査より』  
『都市計画論文集 43 号』2008/11  
『IS014001 の活用による横浜市内立小中学校の省エネルギー効果に

関する研究』

『日本建築学会学術講演梗概集 D-1』2008/9

『Evaluation on Natural Cooling Effects of Open Spaces based on Physiological and Psychological Response in a Hot and Humid City』

『Proceedings of 5th Japan-German Meeting on Urban Climatology』2008/10

『保育施設の園外活動の場として求められる公園環境特性』

『第31回人間・生活環境系シンポジウム報告集』2007/11

## ■ 主な特許

『建物の壁構造』特開 平 10-237972

## ■ 主な著書

『環境教育用教材 学校のなかの地球』  
技報堂出版 2007/1  
『アーキテクテク』  
建築ジャーナル 2006/4